



世田谷稲門会会報

ホームページURL : <https://w-setagaya.tokyo/>

令和6(2024)4年月19日
第 85 号
 会勝一子 稲門会
 正俊 稲門会
 並多美 稲門会
 山内子 稲門会
 林秀信 稲門会
 栗沼昭俊 稲門会
 澤波直 稲門会
 鷺花田直 稲門会
 戸田昇(とだのぼる) 稲門会

事務局 〒157-0062
 世田谷区南島山 5-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田 昇(とだのぼる)

第33回定時総会開催

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク理事
 政治学博士 長島美紀氏を迎えて

6月8日(土)11時から銀座ライオンにて

33回定時総会は6月8日 助手を務めた後、平山郁夫ボ
 (土)11時~14時の開催で、「銀 ランティアセンターでコー
 座ライオン・クラシックホー デイナーとして元マラソ
 ル」で開催します。
 東京メトロ銀座駅、都営地下 ティイベント企画運営などを
 鉄東銀座駅から徒歩3分、J 経て現職。

R新橋駅から徒歩7分です。 設立時より理事として参加
 今回は(社)SDGs市民 しているSDGs市民社会
 社会ネットワーク理事、長島 ネットワークでは、普及啓発
 美紀氏に「早稲田での12年間 事業を担当。著書に「FGM
 で学んだこと、経験したこと」 (女性性器損傷)とジェンダー
 と題してご講演いただきま に基づく迫害概念をめぐる諸
 す。 課題―フェミニズム国際法の
 多くの方のお越しをお待ち 視点からの一考察(早稲田大
 しています。 学出版、2010年)など。



長島美紀氏

長島美紀氏プロフィール

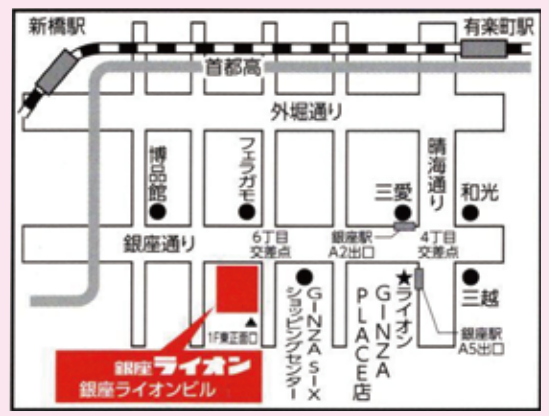
1977年、東京生まれ。
 (社)SDGs市民社会ネット
 ワーク理事、政治学博士。早
 稲田大学政治経済学部で研究

総会の詳細については同封
 の別紙「第33回定時総会のご
 案内」をご参照ください。
 是非皆様のご出席をお待ち
 しております。同封の返信用
 はがきで出欠のご連絡をお願
 いいたします。なお、当日ご
 出席いただけない方は委任状
 にご記入、ご署名の上ご返信
 くださいますようお願い申し
 上げます。
 会費は8000円です。

校友会年会費納入のお願い

皆様のご協力により、世田谷稲門会は早稲田大学校友会
 年会費納入者数が多く、補助金も多く支給されています。
 ほとんどの方が毎年納入いただいていると思いますが、
 失念して未納の方は納入をよろしく願いいたします。

世田谷稲門会事務局：戸田 昇



今年も北澤八幡神社でジャズ演奏を楽しもう!

今年もゴールデン・ウィークに「代沢芸術祭」が開催されます。
 昨年同様、早大ニューオールリズジャズクラブOBバンドが
 出演することになりました。
 デキシードジャズを元気に演奏します。
 5月5日(日)14~16時に北澤八幡神社の舞台です。

入場無料 (西北会 寺島 邦夫/記)



世田谷稲門会新春懇親会開催

2024年1月28日(日)
11時半から銀座ライオン6階のクラシックホールにて新春懇親会が開催されました。参加は83名でした。

冒頭、旭正勝会長より新年のご挨拶があり、新しい年も益々活発な活動を行っていく旨の考えを表明されました。司会進行は谷口幸四郎幹事が担当しました。

続いて早稲田大学競走部駅伝監督の花田勝彦氏の講演です。早稲田は先日の箱根駅伝では見事に7位とシード権を獲得したので、箱根駅伝の裏話や、来年に向けての意気込みなどを熱く語っていただきました。来年は3位が目標とのことでした。私たちも一生懸命応援したいものです。また、長距離走者として歩んでこれ



挨拶をする旭正勝会長



司会の谷口幹事



乾杯の上田さん



閉会挨拶の林副会長



講演の花田勝彦氏

たご自身の経験についてもお話があり、大変興味深く拝聴しました。ユーモアあふれたお話で、笑っている内に時間が過ぎてしまいました。

講演会後、休憩をはさんで懇親会を行いました。最初にご来賓の紹介です。金森捷三郎 東京都23区支部長、高田宜美 中野稲門会会長、長谷川将 杉並稲門会会長、今村俊夫 世田谷三田会会長などのご来賓が紹介されました。また、ご来賓を代表して金森捷三郎 東京都23区支部長からご挨拶を頂きました。続いて新入会員5名(鴻野智良さん、小田大貴さん、早瀬律子さん、手塚仁雄さん、宮崎宏史さん)が紹介されました。乾杯の音頭は若手の上田秀磨さん(けやき会)にお願ひしました。日本酒は味わいの違う2種類、石川の「天狗舞」と高知の「酔鯨」を用意しました。ビール(もちろんサッポロビール)やワイン、ソフトドリンクなどは飲み放題です。宴半ばに途中から参加された三宅茂樹 世田谷三田会顧問にご挨拶をいただきました。



参加の皆さん

また、地域サポート活動部会の井上文さんと林馨さんから能登半島地震で被災された皆さんのための募金を皆さんに願ひし、約6万円が集まりました。ご協力ありがとうございました。

締めは林馨副会長の閉会挨拶と恒例の校歌斉唱・エール交換です。エールは元応援部チアリーダーズの秋山多美子幹事にお願ひしました。
(榎並 俊一/記)



校歌斉唱



エール交換の秋山幹事

新入会員紹介 (2024年入会)

山城 智義(やましろ ともよし) (1999(平成11)理工研究科)

世田谷稲門会の皆様、初めまして。



理工学部卒業、大学院理工学研究科修了の山城智義と申します。出身は富山県ですが、今では世田谷歴の方が長くなりました。仕事は、経営コンサルティング会社に勤務しています。その傍ら、経営コンサルタントの国家資格である「中小企業診断士」を取得し、大企業から中小企業まで、様々な業種の企業の経営支援をしております。

趣味は魚釣りで、船に乗って沖での釣りを楽しんでいます。自分で釣った魚は、捌くのは大変ですが、ひと際美味しく感じます。(釣り部にも入部させて頂きました!)

なかなか平日の催しには参加できませんが、皆様と交流を深めていきたいと思っております。宜しくお願ひいたします。

小田 大貴(おだ だいき) (2013(平成25)商)

埼玉県出身で、池尻に在住しております。早大本庄卒で、早稲田には7年間お世話になりました。学生時代はサッカーばかりやっておりました。新卒で野村証券に入社し、営業、海外留学、経営企画部等を経験した後、現在は起業・独立をして活動しております。

2歳と3歳の娘がおり、週末はもっぱら世田谷公園や駒沢公園などの公園巡りが中心になっています。ゴルフやお酒を飲むことが好きなので、ご一緒できたら嬉しいです。

皆さま、何卒よろしくお願ひいたします。



早瀬 律子(はやせ りつこ) (2000(平成12)アジ研)



早稲田大学で過ごした日々は自分の人生にとって、とても意義のあるものでした。大学院ではアジア太平洋研究科で国際関係学を専攻し、アジア太平洋地域と日本間の外交政策の研究をしておりました。

修了後、商社に就職し、その後起業して現在は受験生の学習指導を生業としております。毎年入試に向けて合格を勝ち取るべく受験生と共に走り続ける中、ふと懐かしさを覚えてこの度稲門会の門を叩かせて頂きました。皆さまとのご縁を大切に親睦を深めていきたいと思っております。

馬田 幸子(うまだ さちこ) (2006(平成18)教育社会学)

2006年教育学部社会学科社会科学専修卒の馬田幸子と申します。

世田谷区砧地区へ5年ほど前に引越してきました。普段は夫婦共働きで2人の子育てを行っており、多忙な毎日を送っていますが、折を見て地域のイベントに参加できれば幸いです。

何卒宜しくお願ひ申し上げます。



山本耕一郎(やまもと こういちろう) (1998(平成10)商)



親子三代世田谷生まれ世田谷育ちで学院に入学してより7年間早稲田にお世話になりました。

私の生まれ育った世田谷と私を育てていただいた早稲田という二つの恩のある当会に入会出来ますこと大変嬉しく思います。

学生時代はアメフトに励んでおりましたが体調を崩して退部、現在は自営業でセールス、マーケティングの仕事を始めとして様々取り組んでおります。

ブロック会だより

キャロット

キャロット会は2023年12月2日(土)午前11時30分から午後1時30分まで三軒茶屋の「燕来香」にて、恒例の忘年会を開催しました。

参加者は旭会長、井口亜由子、上田秀麿(けやき会)、大坪美弥子、風間謙、佐藤清美、佐野淑子、下山芳男、宗慎治、辻村ひろみ、富塚兆彌、中井盛久、萩原健、星野裕、本庄忍、御園生勇(50音順、敬称略)の16名が近況を報告し、和気藹々と2023年を振り返りました。

(富塚 兆彌/記)



きぬた

2024年花見会を3月26日(火)に開催で進めており、29名の参加予定でした。しかしご存じの通り今年の桜の開花は大幅に遅れてしまいました。本原稿を書いている3/23時点でもまだ開花宣言が出されていません。また天気予報では、花見会当日が雨の予想で気温もかなり低いと予想されていたので、3/26での開催はあきらめ、1週間ずらして4月2日(火)の開催へと延期することに決定しました。従って花見会の記事は会報85号の印刷の間に合わないため、花見会の詳細については世田谷稲門会のホームページでご確認ください。(最終的に中止となる可能性もありますが、その場合はご容赦ください。)

(榎並 俊一/記)



2023年花見会の様子

西北

恒例の“初詣・新年会”実施

2024年1月9日(火)16時30分から有志18名の会員が地元の北澤八幡神社に集結し本年の初詣を行った。本殿ではありがたい祈禱を頂戴。本年は“先の見通しは明るいが、急いては事を仕損じる”とのこと。

厳かな気持ちで下北沢南口商店街にある新年会会場「つ串亭」へ向かった。まず桃井より昨年の納涼会での支援など日頃の協力に感謝。松浦さんより会の発展を祈念して乾杯の発声。一気に宴会モード。箱根駅伝での母校の健闘、学生時代の話、WBC 世界一、岡田阪神日本一など話題は豊富。頃合いみて初参加の橋詰さんの自己紹介、直近入会者の自己紹介、結局は全員の自己紹介になり情報交換。終わり間近に最近入会の北村聡子さんがご挨拶だけと参入し自己紹介。この和気藹々の会をいつまでもと再会を約して散会とした。

(桃井 清治/記)



玉川

2024年玉川会新年会

2024年2月4日(日)、田園調布倶楽部にて玉川会新年会が開催されました。

29名の参加者、ゲストに國澤世田谷稲門会副会長(きぬた会)と、戸田事務局長(千歳会)をお招きし、和やかな雰囲気の中歓談と美味しい食事のひとときとなりました。

途中、福引きや『健康のための食生活』に関するレクチャーなど、趣向を凝らしたアジェンダも行われ、冷たい雨も上がったお開きの頃には、皆さん心地良く帰路につかれました。

また、今回ご参加頂いた若手の宮田大さん(1986年政経卒)と、佐々木誠さん(1992年教育英卒)が新たに世話人に加わることを快諾頂きましたので、あわせてご報告致します。

(石谷 啓造/記)



さくら

令和5年(2023年)秋のさくら会懇親会を、10月29日(日)に三軒茶屋の銀座アスターにて、本部から旭会長、ブロック会担当の斎藤幹事の2名をお迎えして、14名の参加のもとで開催しました。

さくら会では懇親会を春と秋に開催することにしており、コロナ禍で4年ぶりの秋の懇親会開催でした。旭会長・斎藤幹事から、世田谷稲門会の活動などを含めたお話がありました。新入会員から自己紹介とご挨拶を頂き、希望者によるお話の後、束の間の懇談を楽しみました。たいへん楽しい会を終え、恒例の校歌斉唱と記念撮影で締めとなりました。

(小口 浩一/記)



けやき

2023年12月16日(土)、けやき会忘年懇親会を開催しました。参加者は23名で多数の会員が集まりました。この他、世田谷稲門会本部からご来賓として、國澤俊一幹事長、桃井清治ブロック会統括にも参加頂きました。

懇親会の会場は、経堂駅南「陳家菜房(チンカサイボウ)」で、中国福建省出身のオーナーシェフが作る中華料理を楽しみました。

今回は初めての試みで、個室ではなく他のお客様が隣のテーブルに居るような会場で行いました。流石に一人ひとりの近況報告などを行うことは難しかったですが、会話が弾み大いに盛り上がった会になりました。残念ながら校歌斉唱は出来ませんでしたが、お互いに来年も良い年になることを祈りながら会を終わりました。



(花澤 隆/記)

特別部会だより

地域サポート活動/レディースクラブ

地域サポート活動部会

地域サポート活動部会は「社会貢献」を目的とした会です。いまは児童養護施設を出た子どもたちと医療的ケアを必要とする子どもたちを支援する募金活動をすすめています。また今年度は、1月の能登半島地震被災者支援の募金活動も行いました。募金金額ならびに寄付先および寄付金額は以下のとおりです。

これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

1. 募金金額：

- (1) 総会・納涼会・各部会等での募金および個人の寄付 159,008円
 (2) 能登半島地震被災者支援募金(新春懇親会にて) 68,000円

2. 寄付先および寄付金額：以下4団体に各100,000円

- (1) 世田谷区児童施設退所者等奨学・自立支援基金
 (2) 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団(キッズファミ財団)
 (3) 石川県令和6年能登半島地震災害義援金
 (4) 早稲田大学被災学生支援および復興活動支援

(篠崎 章子/記)

レディースクラブ

昨年度、レディースクラブは、地域サポート活動部会と合同で日頃お世話になっております役員さんがたの慰労会を行いました。このほかには特別な企画は立てられませんでした。今年度はメンバーとも相談しながら、女性ならではの視点を盛り込んだ楽しい催しを考えていきたいと思っておりますのでどうぞご期待ください。

(井上 文/記)

青年

青年部会は、3月7日(木)に令和6年の第1回目の例会をマルデナポリ上野毛店で開催しました。当部会がマルデナポリ上野毛店を利用するのは初めてでしたが、この例会の担当幹事の荻野世話人の司会のもと、参加者は名物の窯焼きピザを含む美味しいイタリア料理のコース料理に舌鼓を打ちながら、楽しく懇談・交流しました。



当日は初参加者1名を含む24名の会員とゲストの玉川会の谷口さんが出席しました。初参加の小田さんの自己紹介、久しぶりの参加の大谷さん、横山さんのお話などを交えながら、例会は楽しく進行し、話題が尽きないままお開きの時間になってしまいました。

(中島 史郎/記)

趣味の部会だより

ゴルフ

2024年最初の第118回世田谷稲門会ゴルフコンペは3月27日(水)に都内の武蔵野ゴルフクラブにて開催されました。前日までの雨が嘘のように快晴となり、26名(7組)の参加で実施されました。

栄えある総合優勝は大谷静枝さんでした。スコアは46:49=95、HD26、NET69の3アンダーでした。準優勝は播磨崇さん、3位は桃井清治さんでした。

グランドシニア優勝は宮坂尚利さん、シニア優勝は榎並俊一でした。レディースは残念ながら大谷静枝さん1名のみでの参加でしたが見事な総合優勝でした。ベスグロは押見正雄さんで44:42=86でした。



左から榎並、大谷、宮坂

5月14日(火)には世田谷三田会との懇親ゴルフが相模カンツリーにて開催、6月7日(金)には第119回コンペが桜が丘CCにて開催予定となっています。

(榎並 俊一/記)

俳句

令和5年10月23日(月)の句会は兼題「冬隣」、11月27日(月)は「鍋」、12月25日(月)は「クリスマス・聖夜ほか」、令和6年1月22日(月)は「餅」、2月26日(月)は「薄氷」でした。いずれも桜新町区民集会所で開催されました。2月の句会では入会希望の根来正雄(俳号・楽舟)さんが参加されました。

高得点句を掲載します。

(富塚 兆彌/記)



- | | | | |
|-----------------|-----------|----------------|------------|
| 三年味噌ならぶ朝市冬近し | 雪子 (家井雪子) | 惜しまれし人ふと消えて冬隣 | 恵那 (榎並俊一) |
| 枕から日向のにはひ冬隣 | 牧羊 (津島晃一) | 櫂の景通す日差しや冬隣 | 兆弥 (富塚兆彌) |
| 山門は風の入り口乱れ萩 | 勝 (田中 勝) | 鳴く鳥も山に帰るか年の暮 | 英仙 (阪本英樹) |
| 出刃研いで新巻卸す小半日 | 広 (矢後勝洋) | 春一番吹き止みて知る夜の静寂 | まもる (松尾 守) |
| 枝光を日ごとに染める芽吹きかな | 利水 (江原利次) | 露天風呂初音の余韻独り占め | 楽舟 (根来正雄) |

釣り

1月18日(木)に京橋の中華料理店「新世界」で新年会を開催。6名が参加。当面の釣りとして太刀魚とアジを狙うことにした。

〈太刀魚釣り〉雪の影響で延期した太刀魚釣りを中山丸で2月14日(水)に実施。2名だけの参加だったが今の時期、10匹程度釣れば上等なところ天候にも恵まれ各自80センチ前後の肉厚の魚を20匹ほど釣り上げた。刺身だけでなく、唐揚げ、てんぷら、一夜干しなどどれも好評。近所の方にもお裾分けした。(写真①、②)

〈アジ釣り〉3月12日(火)に大田稲門会釣り同好会とコラボで大型のアジ釣り、4月7日(日)には初心者でも楽しめるライトアジ釣りを実施。(結果はホームページをご覧ください。)
(寺島 邦夫/記)



ウォーキング

「谷中から湯島まで江戸を偲んで」

2023年11月12日(日)、天候は寒い曇り空。二宮忠利さんの案内でまずは谷中銀座の“夕焼けだんだん”へ、その後大隈重信銅像など600点を展示している朝倉彫塑館、山岡鉄舟の全生庵を回り、徳川慶喜など7000基の谷中墓地へ。そして徳川家ゆかりの寛永寺の根本中堂(写真1)に入った。その後湯島天神へ。

「学芸大学～目黒散策」

2023年12月10日(日)、天候は雲一つない青空。林馨さんの案内で中央緑地公園、菜種油の油面公園を散策。目黒寄生虫館で勉強。次に格式高い目黒不動尊へ。広々とした庭、門前の「独鈷(どっこ)の瀧」も風情あり。

「藤沢七福神巡りと新年会」

2024年1月7日(日)、天候は快晴。横山徹さんと野村具徳さんの案内でまずは大黒天の諏訪神社、続く弁財天の遊行寺は広い庭に樹齢700年の大銀杏もあり荘厳な佇まい。福祿寿の常光寺を経て毘沙門天の白旗神社は祭神源義経が弁慶を従え凛々しい姿。(写真2)その後寿老人の眞源寺を参拝。

(桃井 清治/記)



食べ歩き

2月27日(火)、第92回の食べ歩き部会を開催。銀座のロシア料理「ロゴスキー」が会場となりました。1951年創業の同店は、日本で最初のロシア料理レストランであり、揚げたてのピロシキや、鮮やかなビーツの色が映えるウクライナ風ボルシチなどが楽しめます。美味しい料理を食しながら、長引くロシアのウクライナ侵攻が終結することを期する趣旨で開催されました。

今回は25名の方にご出席をいただき、新しく田波直子さん(1984社学卒)、早瀬律子さん(2000アジ研卒)、小田大貴さん(2013商卒)に参加いただきました。早瀬さんは中学受験対策の事業、小田さんは金融コンサル業を起業されており、2000年以降に卒業した若手会員の活躍に拍手がわき起こりました。食べ歩き部会は、皆様のご参加をお待ちしております。

(森山 健太/記)



映画

2024年稲映会新年会

2024年2月3日(土)、12:00～、内幸町のプレスセンタービル9階にある日本記者クラブにて稲映会の新年会を催しました。参加者は18名でした。

まずは真木郁夫代表による挨拶とこれからの予定などの説明があり、早速乾杯となりました。乾杯の音頭は長老の松尾守さんをお願いいたしました。



コース料理とワインをいただきながら参加者全員から、現役時代のことや映画との関わりなど近況報告も含めて、それぞれに楽しくお話いただきました。また長老のお一人でもある柏良子さんからは若いころの愛読書「風と共に去りぬ」全5巻のうちの1巻をお持ちいただき、回覧をしていただきました。昭和25年頃の購入で1冊100円だったそうです。車椅子で参加いただいた阪本英樹さんからは「女性の映画人」という冊子を回覧していただきました。

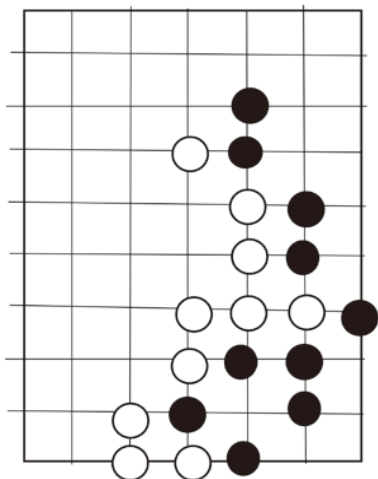
予定していた2時間は瞬く間に過ぎ、集合写真を撮って解散となりました。(榎並 俊一/記)

囲碁・将棋

囲碁部

将棋部

詰碁問題



白先如何？
～私の実戦から。指摘されるまで気づきませんでした。～ (池松)

(池松 正之/記)

詰将棋に挑戦！

今回は少し難題 (五手詰め)

ヒント：初手5一角成では玉に逃げられてしまう

	6	5	4	3	2	1	
		王					一
角			王				二
	金		王				三
	歩			王			四
							五

持駒 飛

将棋部は毎月第三土曜日の午後に用賀「鈴家」さんにて例会を開催しています。

興味のある方は 飯田(090-5070-2991)又は 林(k.hayashi@pm-ms.tepm.jp)までご連絡ください。

(林 馨/記)

スポーツ観戦

今年度の陣様です

野球部：

監督 小宮山 悟
 助監督 金森 栄治
 主将 印出 太一(中京大中京)

ラグビー蹴球部：

監督 太田尾 竜彦
 主将 佐藤 健次(桐蔭学園)
 副将 宮尾 昌典(京都成章)

有力新人は次号にて

(小林 昭一郎/記)

歴史

2021年10月に5名の会員でスタートした歴史同好会が、会員数22名となり、2024年2月12日部会に昇格しました。このため、今回は総論も少々紹介します。原則、毎月第2土曜日10～12時が例会で、テーマは会員の任意です。昨年は世田谷の郷土史から古代、鎌倉・室町などの中世史、西南戦争、太平洋戦争など幅広いテーマで発表がありました。当部会の魅力は、大学の講義のような「一方通行」ではなく、会員相互間の活発な意見交換にあります。知識や関心は会員それぞれ濃淡ありますが、知的刺激に満ちた2時間があったという間に過ぎてしまいます。

歴史に所縁のある名所旧跡を訪ねるのも当部会の特徴で、昨年は春と秋にそれぞれ大田区立勝海舟記念館、多摩市の東京都埋蔵文化財センターを訪れ、見学とランチで会員相互の親睦を深めました。(藤方 聡美/記)



同好会

温泉・小旅行

2024年1月19日(金)、場所は神奈川県厚木市内の“七沢温泉”でした。男性6名女性3名の合計9名の会員が参加。当日の天気は快晴、10時過ぎに小田急線本厚木駅に集合、駅前から路線バスを利用して約30分。山が迫る“七沢荘”に到着。

宿泊施設もあり昨年8月にリニューアルされた清潔感のある設備で、風呂は男女用とも内風呂も露天風呂もある“天然温泉”で強アルカリ性の泉質、浸かっているとお肌はツルツルスベスベに、湯温は適温。徐々に発汗が促進されてきました。日差しを浴びながらの露天風呂では開放感、幸福感を満喫出来ました。

お決まりの“湯上りの1杯”は、施設内の食堂で「地ビール」と蕎麦。楽しい歓談の時間でした。次回の活動場所の候補としては“酸性系の泉質”の温泉はどうか、という結論が出たところで集合写真を撮り、帰路のバスでは睡魔に襲われ、本厚木駅から帰途について活動は成功裡に終了しました。

(斎藤 正憲/記)



SS会

2024年SS会会北海道富良野合宿 (1/29～2/1)

2024年1月29日(月)から2月1日(木)の4日間、北海道の富良野で合宿を実施いたしました。参加者は旭正勝さん、林馨さん、津島晃一さん、榎並俊一の4名です。

初日は移動のみで宿泊地の新富良野プリンスホテルには午後3時頃に到着いたしました。津島さんは前週のスキーで足を痛め、大事をとってスキーはせずに別行動です。

翌日は曇天でしたが何とか滑れそうということで、3名でゲレンデスキーを楽しみました。雪質は思ったより重く、前日に雨が降ったためとのことでした。ちょっと残念でした。

別行動の津島さんは凍ったダム湖でのワカサギ釣りを楽しみました。

3日目は晴れ間が時々見えるものの曇天で雪がぱらつく中でスキーを楽しみました。

最終日は朝から猛吹雪となり、滑るのは危険と判断して富良野市内の見学に切り替えました。ワイン工房での試飲など、吹雪の中でしたが楽しく過ごせました。

(榎並 俊一/記)



世田谷ぶらさんぽ

第14回

馬事公苑

馬事公苑は1940年に開苑以来日本の馬事振興の拠点としての役割を果たしています。世田谷区上用賀にある公園です。日本中央競馬会(JRA)が運営しています。「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を機に2017年から大規模なリニューアル工事にしました。残念ながら2021年に行われたオリンピックでは、コロナ禍のため無観客での開催となりましたが、2023年11月にリニューアルオープンをし、自由に入ることができます。



正面

馬事公苑



メインオフィス(ホースギャラリー)

【主な施設】

- ① ホースギャラリー
馬術関連や馬に関する書籍や映像を楽しむことができる。カフェコーナーやキッズコーナーもある。2階にはレストランがありメインアリーナを一望しながら食事ができる。
- ② 彩(いろどり)のこみち
四季折々の草花を楽しむ。
- ③ メインアリーナ
馬術大会を行うメインアリーナ
- ④ 放牧場
乗用馬やポニーを放牧している。
- ⑤ 厩舎
飼われている馬や競技会用の馬の厩舎もある。
- ⑥ インドアアリーナ
大会では会場として使用されるが、普段は練習場として使用されている。
- ⑦ はらっぱ広場
広大な芝生の広場。
- ⑧ ナチュラルアリーナ
総合馬術でクロスカントリー競技に使用される。競技のないときは緑の広場として開放されている。
- ⑨ 武蔵野自然林
1940年の開苑当初から原生林が残る森林エリア、空中歩廊(フォレストパス)などもある。

(榎並 俊一/記)



▲はらっぱ広場と武蔵の自然林
メインアリーナとインドアアリーナ▶



【開園】

年中無休 無料 開苑時期は3月～10月まで
開園時間は9:00～17:00まで

【交通アクセス】

電車の場合;東急田園都市線、桜新町駅から徒歩15分、小田急線、経堂駅から徒歩20分。
バスの場合;渋谷駅から用賀行、祖師ヶ谷大蔵行、成城学園前駅西口行、用賀駅から祖師ヶ谷大蔵行、千歳船橋駅から渋谷行、用賀行、いずれも「農大前」で下車し徒歩3分。

詳細はJRA馬事公苑HPでご確認ください。 <https://jra.jp/facilities/bajikouen/>

会員の広場

早大剣道部を愛した「父と夫」

協坂 典子(準会員)



昔話にお付き合いください。
 父、岡本正之助(剣道七段
 教士)は昭和5年早大商学部
 卒、当時剣道四段、学生時代
 は自宅が都電の早稲田停留場
 の前「さがみや呉服店」であつ
 た。そのため剣道場へは店の
 印半纏を着用して通ったこと
 もあるとか。また、祖母の話
 では部員の仲間が何人も家に
 立ち寄り語り合っていたよう
 だ。

戦後、剣道はご法度、竹刀
 競技となる。昭和30年、剣道
 復活。32年頃より早大道場に
 て学生と稽古をする。この時
 代に七段教士号取得。33年頃
 より36年頃まで「稲門剣友会」
 幹事長を務める。この頃、杉
 並の自宅に剣道部の学生が数

人訪れていた。また、毛筆で
 早慶戦選手名を書き出す事も
 引き受けていた(両校各20名)。
 父、昭和44年61歳にて没。

夫、協坂元彦(剣道五段錬士)
 は昭和34年早大政治経済学部
 卒、当時22歳、剣道五段。

学生時代は大学道場の他、
 中野の警視庁道場に許可をも
 らい、稽古に励み五段を取得。
 30年、剣道復活時の早慶戦に
 は1年生で先鋒として出場、
 4年間選手で活躍。義父、協
 坂吉之助(昭和5年早大文学
 部卒)の話では、吉祥寺の自
 宅に地方出身の学友や部員達
 が訪れて交友を深めていたよ
 うだ。

勉学も努力し無事卒業、就
 職。卒業後は「稲門剣友会」
 の会計幹事を17年ほど務める。
 また、学生の剣道大会の審判
 役も務めていた。剣友会総会
 に出席、合宿にもOBとして
 参加。昭和36年錬士号取得。
 早慶戦時は二人揃って応援に
 出掛けていた。実業団剣道に
 も尽力。

兩人とも「剣は心也」「平常
 心」を教訓に早大剣道部を愛
 し、精進したのでしよう。

早大剣道部の活躍を念じつ
 つ、早稲田大学の恩恵に感謝
 しております。

私は準会員として世田谷稲
 門会の行事に参加させていた
 だいております。井山庄司様
 に仏像彫刻を8年間ご指導い
 た、たき、地藏菩薩、観世音菩薩、
 阿弥陀如来像など彫り上げる
 ことができました。夫の元彦
 は現在入院中ですが、元気な
 ころ、水島豊様の中国への旅
 に毎年夫婦で参加し、麻雀部
 会、カラオケ部会にも参加さ
 せていただき、世田谷稲門会
 とのご縁に感謝致しております。



S34.1 早大道場にて、前列左から2人目

ホットなつらム こんな温泉・あんな温泉 (第1回)

(温泉・小旅行同好会 世話人 斎藤正憲)

第1回は松之山温泉のご紹介です。

松之山温泉の「謳い文句」としては「有馬の湯」「草津の湯」に並ぶ“日本三大薬湯”の一つだとか。

場所は新潟県十日町市内。私は毎年3月にこの市内の松代(まつだい)で開催される「越後まつだい冬の陣」という冬まつりに参加するついでに仲間と訪れています。ホテルや旅館が立ち並ぶ“温泉街”ではありますが、規模は小さいです。

私が毎年3月に仲間と立ち寄り湯として利用するのは温泉街の入口に近い「鷹の湯」で泉質は「ナトリウム・カルシウム - 塩化物泉(弱アルカリ性)」、塩分濃度は高いです。湯温は高めで温湯好きにお薦めです。料金は大人500円(令和5年3月時点)男女用とも内風呂と露天風呂が完備されていて露天風呂のすぐ脇を(下を)小川が流れていて、雪見風呂と併せて風情満点です。

付録の情報としては、湯上りに近くの蕎麦屋「滝見屋」に寄って、冷えたビールや日本酒で喉を潤し天麩羅等を食してから「盛蕎麦」はお薦めコースです。店内はテーブル席が2つと8畳ほどの座敷があり、仲間と立ち寄る時はいつもこの座敷を利用。飾り物の鎧兜などありますが店内にはモダンジャズが流れていて良い雰囲気です。



鷹の湯の入口



蕎麦屋 滝見屋

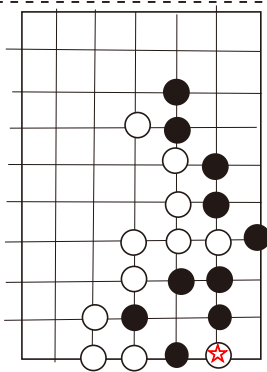
世田谷稲門会 会員異動状況 令和6年 2月29日現在 (正会員392名準会員30名)

※個人情報保護の観点から記載は省略しています。

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mail アドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 斎藤 正憲 電話 044-281-4941 e-mail ; baronsaito@yahoo.co.jp



【詰碁の答】

正解：何も考えなければ抜いてつぐだけで、1の2が上手い手。黒つぐと劫含みのトントン。抜けば、3の1に打ち欠いてから抜くと、これも劫含みのトントン。隅の魔術ですね。

【詰将棋の答】

正解：4 二金、同玉、5 三角成、4 一玉、3 一飛 まで 二手め同金は5 一飛

編集後記

新型コロナウイルスは昨年5月に5類に移行してからニュースではほとんど聞きませんが、いまだに感染者が増加したり減少したりしているようです。またインフルエンザやその他の感染症も流行っているようです。4年間のコロナ禍で人間の免疫力がかなり低下しているようです。皆さんもお気を付けてください。当会でもまだ活動を再開していない部会がそこそこ見受けられます。早く活動を再開してほしいと思います。一方で一昨年に同好会として発足した4つの会のうち、映画同好会が昨年映画部会(稲映会)に、歴史同好会が2月に歴史部会に昇格し、活発に活動しているようです。温泉・小旅行もあちこちの日帰り温泉に行かれていくようで、新しく始まった「ホットなコラム」欄での各地の温泉紹介が楽しみです。スキー&スノーボード同好会(SS会)も北海道合宿をして元気に活動しています。趣味の部会・同好会がさらに発展することを望んでいます。

(榎並 俊一/記)